

事業所名		幼児ことばの教室		公表日		R8年2月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	要望をとりいれながら、人数調整をしてなんとかやりくりしている。	職員の事務仕事をする場所がほとんどない。従業員が指導の準備に使用したり、利用者について相談するスペース（利用者がいる場所とは区切られた空間）が不足している。集団活動の際は、席の配置を工夫するなどして、密にならないようにしている。希望人数に対して、部屋数が足りないことがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4		曜日により、職員の出勤人数が違うため、保護者の希望での支援の受け入れが難しい場合がある。職員が少ないため、増員が必要。指導員が会計年度職員ばかりなので、年度によって指導員の変動があるため、指導員の数が足りないことがある。定員は職員数に合わせて設定されているが、発音などのより専門的な知識が必要な場合、相談できる職員がおらず、提供できるサービスが限られてしまっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	各職員が教室の構造化の工夫はしているが、入り口の段差やスペースの関係でバリアフリー化ができていないところがあるので、怪我のないように注意喚起を行っている。必要に応じて、カード等のコミュニケーション手段を取り入れたり、部屋の配置を構造化したりしている。	入り口などは段差がある。バリアフリー化ができていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	遊具や教材等の収納が不十分なところがあるため、整理する空間を工夫して確保しています。	職員の収納が不十分になっているところがあるため、整理することで空間を確保していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	ケース検討会・運営会議で職員全体での問題や課題に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者の意向をより詳細にとらえ、共通のものとしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	運営会議などを実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		今後必要に応じて、実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4	定期的にケース検討会を実施している。外部講師等の研修がない。	今後も専門機関として職員の資質向上に努め、研修の機会を確保していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	早期療育相談員と連携して、より適切な支援を心がけている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	運営会議やケース検討会等で、必要に応じて検討が行われている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	活動内容ごとにプログラムを検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	子どもの状態に応じて活動プログラムを変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	グループ・小集団の活動では、綿密に打ち合わせや振り返りを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	情報の共有と共に内容を明文化して、具体的な状況をとらえるように努力している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	記録については、迅速かつ正確に取ることを目指して、実践するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	計画相談事務所が行うモニタリング時に情報交換をし、必要に応じて計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	ケース検討会では担当者から子どもの状態の報告や相談がなされている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	保護者の希望に応じて幼稚園、保育所等を訪問し連携がなされている。	保育所や幼稚園への訪問や市役所内の機関との情報共有等はあるが、それ以外の機関との連携の機会はない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	保護者の希望があれば情報提供書を作成し、就学先に送って情報提供をしている。保護者の希望に応じて、情報提供が書類を通して行われている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		指導の前後で情報共有はあるが、研修の機会はなく、情報提供は指導員個人が持つ情報に限られている。支援センター全体で提供可能な情報を集約する必要があると考える。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	契約時に必要事項については丁寧に説明を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	会はありませんが、グループや集団指導の時に、保護者同士の交流が見られることがあります。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	個人で対応に困ったときは、他の職員と相談して保護者の方へ対応しています。また、早期療育相談とも連携して、対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	5		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	6		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	4	身体拘束を行う支援場面はない。	